平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場会社名　沖電気工業株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　6703　URL　http://www.oki.com/jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長執行役員　(氏名) 川崎 秀一
問合せ先責任者 (役職名) IR室長　(氏名) 野村 重夫　TEL 03-3501-3836

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	303,688	5.4	△689	―	2,363	564.9	△1,345	―
24年3月期第3四半期	288,035	1.5	2,977	―	355	―	△10,599	―

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　△842百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　△7,806百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△1.84	―
24年3月期第3四半期	△14.50	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	329,790	39,757	11.9
24年3月期	368,065	41,251	11.2

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　39,349百万円　24年3月期　41,125百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、3ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	452,000	6.7	10,000	△16.5	11,500	26.7	8,000	414.3	9.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	731,438,670 株	24年3月期	731,438,670 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	3,442,698 株	24年3月期	612,141 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	729,259,312 株	24年3月期3Q	730,938,107 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成25年2月13日(水)に機関投資家向け決算説明会を開催いたします。説明会資料は、本第3四半期決算短信と同時にTDNetで開示しており、同日当社ホームページにも掲載する予定です。

（参考）

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式 （基準日）	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	44,047.00	44,047.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				34,410.00	34,410.00

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当社は、平成24年８月８日付適時開示でお知らせしましたとおり、当社海外連結子会社の不適切な会計処理に関連し、過去の決算を訂正しております。以下の記載における前年同期との比較はすべて平成24年９月14日付訂正後の四半期連結財務諸表等に基づくものです。

①当第３四半期連結累計期間（平成24年４月１日～平成24年12月31日）の概況

当第３四半期連結累計期間（平成25年３月期第３四半期累計）の世界経済は、米国では、雇用情勢や個人消費が改善したことなどから緩やかな回復傾向が見られました。一方、欧州では、財政危機により南欧諸国などの景気低迷が長期化しています。また、中国をはじめとする新興国においても高い成長率に減速感が見られ、全体としては一部に持ち直しの動きが見られましたが、本格的な回復には至りませんでした。国内経済は、世界経済の減速や内需の縮小により依然として厳しい状況にありますが、輸出環境の改善や新政権の経済対策への期待から、先行きに明るい兆しも見られました。

このような事業環境の下、ＯＫＩグループの業況は、為替影響があるものの、情報通信システム事業を中心にすべてのセグメントで増収となり、売上高は3,037億円（前年同期比157億円、5.4%増加）となりました。営業損失は、物量増や変動原価の低減などの増益効果はあるものの、Ｒ＆Ｄおよび販売投資増に加え、価格下落、為替影響、スペイン市況悪化影響などにより７億円（同37億円悪化）となりました。

経常利益は、為替差益の計上などにより24億円（同20億円増加）となりました。また、四半期純損失は、前年度に発生したタイ洪水被害による特別損失がなくなったことや投資有価証券評価損の減少などにより13億円（同93億円良化）となりました。

②事業別の状況

＜情報通信システム事業＞

外部顧客に対する売上高は、1,841億円（前年同期比101億円、5.8%増加）となり、すべての事業ユニットで増収となりました。ソリューション＆サービスは官公庁向け案件などが堅調、通信システムではコアＮＷなどが増加し、企業ＮＷや保守・工事も堅調でした。社会システムは、防災案件および一部官公庁向け大型リプレースなどが増加しました。また、メカトロシステムは、中国向けＡＴＭが引き続き好調でした。

営業利益は、物量増に伴い限界利益が増加しましたが、メカトロシステムや通信システムを中心に積極的なＲ＆Ｄ投資を実施したことなどにより、93億円（同４億円増加）となりました。

＜プリンタ事業＞

外部顧客に対する売上高は、815億円（前年同期比37億円、4.8%増加）となりました。為替による減収影響が24億円となり、為替影響を除くと61億円の増収となりました。

商品別の状況では、市場環境は一段と厳しくなったものの、オフィス向けカラーＬＥＤプリンタおよびモノクロＬＥＤプリンタは、商品ラインナップ拡充などにより、販売台数が増加しました。また、新商品販売も堅調でした。ドットインパクトプリンタは、販売台数が増加した一方で、本体価格が下落したことから減収となりました。その他では、プリンタ以外の機器が減少しました。

営業損失は、販売台数は増加したものの、為替影響、価格下落、販売投資増、輸送費増に加え、スペイン市況悪化に伴うスペイン販社の販売減や貸倒引当の影響などにより90億円（同47億円悪化）となりました。

＜ＥＭＳ事業、その他＞

外部顧客に対する売上高はＥＭＳ事業で232億円（前年同期比３億円、1.1%増加）、その他の事業で149億円（同16億円、12.1%増加）となりました。ＥＭＳ事業では、半導体装置関連の需要は減少したものの、通信機器市場や医療機器市場での新規案件獲得に加え、ＯＫＩ田中サーキット（株）の新規連結などにより増収となりました。その他の事業では、アミューズメント市場向けの部品関連事業が堅調でした。

営業利益は、物量増に伴う限界利益の増加などにより、ＥＭＳ事業で９億円（同１億円増加）、その他の事業では、26億円（同６億円増加）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①当第３四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産等の状況

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に対して383億円減少の3,298億円となりました。自己資本は、当第３四半期連結累計期間において四半期純損失を13億円計上したこと等により、前連結会計年度末に対して18億円減少の393億円となりました。その結果、自己資本比率は11.9％となりました。

資産の増減の主なものは、流動資産で現金及び預金が175億円、受取手形及び売掛金が116億円、有価証券が283億円それぞれ減少する一方、たな卸資産が280億円増加しております。

負債は368億円減少しております。借入金は、主に長期借入金の返済により、前連結会計年度末1,365億円に対して150億円減少し、1,215億円となりました。また、流動負債で支払手形及び買掛金が72億円、その他が154億円それぞれ減少しております。

②当第３四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、主に運転資金が増加したことにより、181億円の支出（前年同期174億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得や有価証券の運用による支出などにより、92億円の支出（同27億円の支出）となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローとをあわせたフリー・キャッシュ・フローは273億円の支出（同147億円の収入）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入金の返済により、182億円の支出（同180億円の支出)となりました。

その結果、現金及び現金同等物の当第３四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末の750億円から317億円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、堅調に推移している情報通信システム事業などの業績動向を考慮するとともに、第４四半期連結会計期間の想定為替レートの見直し（76円／米ドル→85円／米ドル、100円／ユーロ→115円／ユーロ）を行ったため、平成24年11月13日に公表した連結業績予想の売上高、経常利益および当期純利益を上方修正いたしました。しかしながら、営業利益についてはプリンタ事業の現状を踏まえ下方修正いたしました。

情報通信システム事業は、メカトロシステムの中国向けＡＴＭの増加や、社会システムの防災案件の増加および通信システムのコアＮＷの増加などにより、前回公表計画と比べて増収増益となる見込みです。プリンタ事業は、市場環境が一段と厳しくなったことや販管費の増加などにより、前回公表計画と比べて減収減益となる見込みです。ＥＭＳ事業は、半導体装置関連の需要が減少することなどから減収、その他の事業は、アミューズメント市場向けの部品関連事業が堅調なことなどから増収となる見込みです。

これらの結果、通期業績につきましては、売上高が4,520億円（前回公表比70億円増収）、営業利益が100億円（同40億円減益）、経常利益が115億円（同５億円増益）、当期純利益が80億円（同15億円増益）となる見込みです。

詳細につきましては、本日開示いたしました「12年度第３四半期（累計）決算説明資料」をご参照ください。

（ご参考）平成25年３月期通期連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（Ａ）	445,000	14,000	11,000	6,500
今回発表予想（Ｂ）	452,000	10,000	11,500	8,000
増減額（Ｂ－Ａ）	7,000	△4,000	500	1,500
増減率（％）	1.6	△28.6	4.5	23.1
（ご参考）前期実績（平成24年３月期）	423,480	11,980	9,075	1,555

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因としては、市場の動向、原材料の高騰、急激な為替変動などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,193	27,703
受取手形及び売掛金	112,137	100,494
有価証券	34,320	6,004
製品	24,696	31,830
仕掛品	18,424	37,684
原材料及び貯蔵品	25,106	26,642
その他	26,336	18,079
貸倒引当金	△12,325	△15,889
流動資産合計	273,888	232,550
固定資産		
有形固定資産	52,592	56,506
無形固定資産	7,026	6,523
投資その他の資産	34,557	34,211
固定資産合計	94,176	97,240
資産合計	368,065	329,790
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,307	59,095
短期借入金	76,635	72,535
引当金	2,074	2,121
その他	69,338	53,866
流動負債合計	214,355	187,618
固定負債		
長期借入金	59,843	48,981
退職給付引当金	18,912	19,921
役員退職慰労引当金	294	442
その他	33,407	33,069
固定負債合計	112,457	102,415
負債合計	326,813	290,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,000	44,000
資本剰余金	21,554	21,554
利益剰余金	△20,968	△22,733
自己株式	△38	△397
株主資本合計	44,547	42,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,815	△626
繰延ヘッジ損益	△973	△773
為替換算調整勘定	△632	△1,674
その他の包括利益累計額合計	△3,422	△3,074
新株予約権	79	79
少数株主持分	46	327
純資産合計	41,251	39,757
負債純資産合計	368,065	329,790

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	288,035	303,688
売上原価	217,525	226,438
売上総利益	70,510	77,249
販売費及び一般管理費	67,532	77,938
営業利益又は営業損失（△）	2,977	△689
営業外収益		
受取利息	193	126
受取配当金	771	453
為替差益	－	4,842
雑収入	1,055	804
営業外収益合計	2,020	6,227
営業外費用		
支払利息	3,078	2,347
為替差損	891	－
雑支出	672	827
営業外費用合計	4,642	3,175
経常利益	355	2,363
特別利益		
投資有価証券売却益	27	237
貸倒引当金戻入額	207	－
資産除去債務履行差額	96	－
特別利益合計	330	237
特別損失		
固定資産処分損	355	440
減損損失	13	－
投資有価証券売却損	187	－
投資有価証券評価損	1,259	242
災害による損失	2,702	－
特別退職金	254	－
事業構造改善費用	24	－
付加価値税修正損	733	－
特別損失合計	5,531	683
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△4,845	1,917
法人税、住民税及び事業税	2,037	1,713
法人税等調整額	3,414	1,412
法人税等合計	5,452	3,125
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△10,297	△1,208
少数株主利益	301	136
四半期純損失（△）	△10,599	△1,345

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△10,297	△1,208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△311	1,193
繰延ヘッジ損益	273	200
為替換算調整勘定	2,480	△1,023
持分法適用会社に対する持分相当額	48	△3
その他の包括利益合計	2,491	365
四半期包括利益	△7,806	△842
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,100	△990
少数株主に係る四半期包括利益	294	147

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△4,845	1,917
減価償却費	9,490	9,335
引当金の増減額（△は減少）	1,461	3,586
受取利息及び受取配当金	△964	△579
支払利息	3,078	2,347
投資有価証券評価損益（△は益）	1,259	242
投資有価証券売却損益（△は益）	159	△231
固定資産処分損益（△は益）	349	399
売上債権の増減額（△は増加）	33,474	20,088
たな卸資産の増減額（△は増加）	△17,077	△24,758
仕入債務の増減額（△は減少）	3,430	△14,911
未払費用の増減額（△は減少）	△4,779	△9,204
その他	△4,145	△5,568
小計	20,893	△17,337
利息及び配当金の受取額	958	561
利息の支払額	△3,004	△2,099
保険金の受取額	―	2,934
法人税等の支払額	△1,444	△2,159
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,403	△18,099
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△505	△3,505
有価証券の売却による収入	―	499
有価証券の償還による収入	500	2,500
有形固定資産の取得による支出	△5,771	△7,816
無形固定資産の取得による支出	△1,420	△1,274
投資有価証券の売却による収入	4,620	2,260
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	―	△1,122
その他の支出	△1,187	△1,422
その他の収入	1,090	727
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,674	△9,153
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,189	△978
長期借入れによる収入	9,500	200
長期借入金の返済による支出	△28,476	△14,924
セール・アンド・リースバックによる収入	538	884
リース債務の返済による支出	△2,013	△1,730
配当金の支払額	△0	△1,321
その他	291	△370
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,971	△18,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	674	734
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,568	△44,759
現金及び現金同等物の期首残高	79,645	74,996
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	193	1,426
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△618	―
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	―	29
現金及び現金同等物の四半期末残高	76,652	31,693

（4）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（6）セグメント情報等

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	情報通信システム	プリンタ	ＥＭＳ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	173,998	77,832	22,939	274,771	13,263	288,035	－	288,035
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,652	3,476	89	5,219	16,152	21,372	△21,372	－
計	175,651	81,309	23,029	279,990	29,416	309,407	△21,372	288,035
セグメント利益又は損失（△）	8,897	△4,334	816	5,378	2,026	7,405	△4,427	2,977

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、用役提供、その他機器商品の製造及び販売を行っております。
２．セグメント利益又は損失の調整額△4,427百万円には、セグメント間取引消去△86百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,407百万円及び固定資産の調整額66百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	情報通信システム	プリンタ	ＥＭＳ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	184,073	81,545	23,200	288,820	14,867	303,688	－	303,688
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,241	4,170	98	6,510	16,408	22,919	△22,919	－
計	186,315	85,715	23,299	295,331	31,276	326,607	△22,919	303,688
セグメント利益又は損失（△）	9,345	△9,034	915	1,226	2,625	3,852	△4,541	△689

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、用役提供、その他機器商品の製造及び販売を行っております。
２．セグメント利益又は損失の調整額△4,541百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,504百万円及び固定資産の調整額△41百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。